



いいで町

154号

議会だより



山形DC 飯豊日和 “駅からハイキング”

6月議会(第6回定例会)

6月議会定例会概要	P 2~3
一般質問	P 4~6
臨時会・意見書	P 7
各常任委員会	P 8~9
公社・三セク報告	P 10~11
全議員研修・編集後記	P 12

第6回6月定例会

ふるさと寄付金大幅に増

概要

平成26年6月定例会は、去る6月4日から11日までの8日間、開会しました。

一般質問3人、一般会計ほか、各特別会計8件の補正予算、条例改正1件、人事案件1件、請願2件、第3セクター及び土地開発公社の決算状況報告6件並びにその他5件を審査し、いずれも原案どおり可決・採択しました。なかでも特記すべきは、ふるさと寄付金の大幅な歳入補正です。

各会計補正予算

(単位：万円)

会計別		補正前の額	補正額	計	補正の主なもの	
一般会計		679,520	△20	679,500	人件費の精査 医療用カッター購入補助	
特別会計	国民健康保険	事業勘定	88,218	△9	88,209	人件費の精査 冷温機の補修
		診療施設勘定	15,699	△79	15,620	同上
	後期高齢者医療		8,579	23	8,602	人件費の精査
	介護保険		104,797	△221	104,576	同上
	訪問看護		1,817	8	1,825	同上
	介護老人保健施設		31,003	362	31,365	人件費の精査 冷温機の補修
	農業集落排水事業		65,957	△134	65,823	人件費の精査
	添川財産区		274	29	303	作業道整備
水道事業会計（施設勘定）		19,440	△591	18,849	人件費の精査	



ふるさと寄付金とは
飯豊町外に居住されている方で、いいでめ
ざみの里を応援したい
と思っっている方から町
に寄せられた寄付金の
ことを言います。

「ふるさとを応援し
たい」「ふるさとに関
わりたい」という想い
を実現するために国が
定めた「ふるさと納税」
制度です。

今年度はすでに16
30件の申し込みがあ
り、今後大幅な増収が
見込まれ、4千万円の
補正が組まれました。

昨年度の実績は16
64万円でした。

第6回6月定例会

学校相談機能を充実

条例改正

特別職の給与に関する条例の一部を改正する条例

学校における不登校・ひきこもりなど、情緒不安定な児童・生徒の相談を受けるためカウンセリング機能を充実するものです。

臨床心理に専門的な知識や経験を有する学校外の専門家を配置します。

人事

固定資産評価審査委員

次の方を選任することに同意しました。
氏名 五十嵐 眞
住所 飯豊町手ノ子

財産の貸し付け

中津川宇津沢の茅葺

請願

き民家を個人に貸し付ける契約を締結するものです。

旧所有者が県外に転出された際に寄贈されたもので、借り受け希望の方は、島根県松江在住のご夫婦です。

宇津沢で草木染工芸活動を行うとのこと。

○特定秘密保護法の廃止を求める意見書提出についての請願

提出者 西置賜革新懇和会

代表世話人 今泉 義憲

紹介議員 鈴木 敏夫
審査結果 継続審査

○少人数学級の推進及び義務教育費国庫負担制度の改善に係る意見書提出方請願

提出者 山形県教職員組合置賜地区支部

支部長 小松 正義

紹介議員 菅野富士雄
審査結果 採択

公有財産の取得について

除雪を円滑に実施するため、ロータリ除雪車を3126万6千円で取得するものです。

取得する財産 ロータリ除雪車

2・2M級 契約の相手方

住所 南陽市漆山 (株)KCMJ 南陽営業所 所長 遠藤 和男

公用車物損事故に係る損害賠償額の決定

萩生地内で発生した建物物損事故の賠償額を70万円とするものです。

相手方 住所 飯豊町萩生 マルシチ米穀(株) 代表取締役 後藤 周一

工事請負契約の締結について

橋梁の長寿命化のために補修工事を7020万円で行うものです。

契約の相手方 住所 飯豊町萩生

樋口建設(株) 代表取締役 樋口 哲也



夢ふくらむ 田舎ぐらし



一般質問

萩生城址の調査・発掘計画は



鈴木敏夫 議員

- 女性模擬議会の開催について
- 企業誘致の推進対応策は
- 地方分権時代の人材育成について
- 萩生城址の調査・発掘計画は

質問 女性の模擬議会を開催する考えは。

開催は大賛成

町長 女性が活躍できる場の増加と併せ、社会の期待が強まっており開催には大賛成です。

質問 企業誘致の対応策は。

町の特性を情報発信

町長 町の特性を情報発信して、企業誘致に結びつく活動を展開します。

質問 地方分権時代の人材育成は。

人材育成基本方針で

町長 人材育成基本方針

針に基づき、資質向上に取り組みます。

質問 萩生城址の調査発掘計画は。

発掘調査に着手

教育委員長 本年度文化財的視点による測量を実施する予定です。

来年度以降、この測量をもとに遺跡の有無、遺構の分布状況について発掘作業に着手する計画です。

町指定文化財であり、重要な遺跡である萩生城址は、文化財の視点から、その周辺の遺跡がどの程度痕跡を残しているかを詳細に確認し、その破壊を避け、保護しつつ進めなくてはならないと考えています。

町長 600余年前、伊達氏に仕えた国分氏

が11代200有余年にわたって整備した複郭式城郭であるが、伊達氏17世政宗が陸前国岩出山へ移封となり、11代国分行信がこれに従って、この地を去るため廃城となった。二の丸は本城の祈願所だった恩徳寺文珠堂等が建立されています。

3百余坪、二の丸4千2百余坪の広さで、今に残る堂々とした壕跡ほりあとや土塁などの遺構、中世城郭の風格を偲ぶことができ、調査終了後、町のシンボルとして、復元計画を検討していきます。

みんなで創る！ 明日の飯豊町



一般質問

農村を守る担い手対策は



嶋貫 栄助 議員

緑豊かな農村の活性化と

安全・安心なまちに

質問 国は、農林水産業4つの改革を示した。町農業を、足腰の強い産業にする取り組みは。

中間管理機構の利用と町独自の政策で

町長 中間管理機構（担い手への農地集積・集約化を図る県設置の機構）を活用します。流動化の難しい中山間地は、農業委員会が引き続き担当します。

稲作と肉用牛・アスパラガス・大豆・そば

等を組み合わせた農業に工夫を加え、高品質で安全安心な生産・販売を進めていきます。

質問 多面的機能支払制度への取り組みは。

全地域に参画を呼びかける

町長 農地・水管理支払交付金は、多面的機能

能支払制度に変わりました。農業者だけでも参画できるので、積極的に説明会を開き、導入を推進します。

質問 農業従事者の平均年齢が65歳以上となった。担い手育成は。

人・農地プラン活用を

町長 農地問題解決のため「未来の設計図」人・農地プランを町内18箇所で開催しました。地域で話し合い、取り組んでいきます。

本町は、新規就農者が多いので、今年度から3年間、県の指定を受け「地域で育てる担い手事業」を活用していきます。

質問 小水力発電の導入が進まないのは水利権の問題か。

関係団体に働きかける

町長 白川幹線用水路に候補地があります。再生エネルギー活用のため、強く国に要請します。

質問 全国的に、通学児童の交通死亡事故が発生しているが、歩道を設置する必要があるのでは。

重要事業として要望

町長 交通事故防止に向け、啓発活動・交通安全施設の整備を行い、さらに国・県にも設置をおねがいします。

質問 全国的に、通学児童の交通死亡事故が発生しているが、歩道を設置する必要があるのでは。教育長 通学路緊急点検で、31箇所が危険であると指摘されました。交通安全協会で、子供・保護者の交通指導をしていただいています。



地域の意見を尊重

一般質問

「若者の働き手」確保を



山口文隆議員

質問 元総務大臣の増田寛也氏が座長を務める「日本創生会議」が、2010年から2040年までの間に、「20歳～39歳の女性人口」が、2010年の半分以上になる自治体が896との試算が発表された。山形県内では28市町村、その中に本町も含まれているが、今後の対策は。

推計されています。今後、報道の問題提起を警鐘と受け止め、長期的かつ総合的な対策が不可欠であることから、これまでの取り組みを再度検証し、人口減少に歯止めをかけるという目標の実現に努めていきます。

今年4月に発足した「置賜自給圏構想を考える会」に置賜3市4町の市町長と共に参加し、各部会で研究し対策に取り組んでいきます。

人口減少歯止め 対策の再検証

町長 本町の人口は2040年には4315人、「20歳代～30歳代の女性」は288人と

質問 本町学卒者のUターン推進と定住促進・雇用先の確保は。

雇用創出がカギ

町長 Uターンし定住するためには、働く場所が必要で、企業誘致が厳しい中、町内事業所での雇用を創出していただくための助成制度の活用、技術を生み出さる可能性のある研究機関等との共同事業・定住環境整備などを目指していきたいと考えています。

質問 工業団地内企業の諸課題の解決に向けた支援は。

企業情報のPR実施

町長 企業の情報をピアールする機会を設け、町民が参加できる企業訪問の実施を考えています。

質問 商工会などと連携を図り、中・高・大学生を対象に、インターシップ（就業体験実習）を支援できないか。

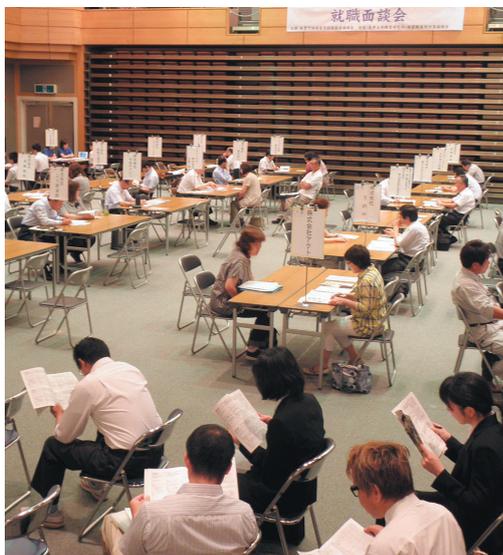
実施に向け検討

町長 中学生の段階から地元企業に魅力を持つ子供を育むことが重要なキーワードと考えていますので検討します。

質問 奨学資金貸与額の増額や定住対策を含めた条例・施行規則に改正できないか。

慎重に検討

教育委員長 昨年、施行規則を入学一時金が貸与できるように一部改正しました。定住対策を含める考え方については、制度の趣旨などの観点から、改正後の効果を検証しながら慎重に検討します。



“就活”（就職面談会）
見つかるか希望の仕事

林道 飯豊桧枝岐線

待たれる早期復旧

第5回臨時会

4月23日第5回臨時会を開催し、平成25年度一般会計補正予算専決処分の承認、条例の一部改正など5議案を審査し、いずれも全会一致で可決しました。

専決処分

●平成25年度一般会計補正予算専決処分

歳入歳出それぞれ738万円を減額し、59億4349万7千円と定めました。

歳入の主なものは、地方交付税の追加や基金繰入金と地方債の減額。歳出は公債費739万円の減額などです。

条例の一部改正

●飯豊町町税条例等

地方税法の改正に伴い、法人住民税の法人税割の税率改定が主なものです。

●飯豊町国民健康保険条例

後期高齢者支援金等課税額及び介護給付金課税限度額の引き上げや、減額措置に係る算定方法の変更に伴うものです。



●平成26年度一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ20万円を追加し、67億9520万円と決めました。

内容は、林道飯豊桧枝岐線除雪業務委託料です。

●普通財産の貸し付けについて

特定非営利法人「ほっと」に対して、旧医師住宅の一部を事務所として貸し付けするものです。

意見書提出

●少人数学級の推進及び義務教育費国庫負担制度の改善に係る意見書

一人ひとりの子どもに対するきめ細やかな対応をし、不登校やいじめ等の減少を図るため、小学校の少人数学級を早急に推進すること。

また、義務教育費の国庫負担割合が2分の1から3分の1に引き下げられましたが、教育の機会均等と水準の維持向上を図り、負担割合の復元を要望するため、関係機関に意見書を提出しました。



安全第一に
飯豊桧枝岐線除雪作業



職員募集 町内から積極的採用を

総務文教常任委員会

各課からの報告

総務企画課

◆7月19日任期満了となる農業委員の選挙は7月8日告示、7月13日投開票となります。

◆平成26年度、町職員採用試験（上級行政）の告知を町広報で行いました。受け付けは、6月4日から7月3日まで、7月27日一次試験、合否判定後の8月下旬に2次面接試験を実施します。

初級行政の西置賜地区統一試験は9月21日に行われます。

◆8月7日に知事とのタウン・ミーティングが「あくす」で開催されます。

住民税務課

◆町税の収納状況は5月末の速報値で、国民

健康保険税・後期高齢者医療保険料を除いた分で、前年比94・2%です。国保税はプラス2・5ポイントの88・6%で、後期高齢者保険料はマイナス0・6ポイントの98・5%です。

教育文化課

◆消費税率改正に伴い、子育て世帯への影響を緩和するため、子育て世帯臨時特別給付金が支給されます。受給資格者は960名を想定しています。全額国庫補助で、広報いいお知らせ版とチラシで告知しました。

質問と答弁

積極的な採用の考えは。

答 地元人材を採用したいのですが、上級試験に応募が少なく10人前後です。今年は、募集チラシを作り、大学・高校に配布しました。

問 採用者の年齢が高いが事情はあるのか。

答 昭和37年以降生まれの職員が少なく、組織体制維持のために35歳を上限としています。

問 文化財保護専門職員はどのような計画で採用したのか。

答 町内の貴重な資料収集や、歴史的研究をなされた方々が相ついで死去されました。後世に残すべく、専門嘱託で、萩生城址や椿焼き裏窯等の整理・調査

もお願ひしました。萩生城址については、次年度発掘調査に入る等、中・長期的計画で進めていきます。また、学校教育では出前教室を開き、歴史的価値の情報提供に努めます。

問 空家対策は進んでいるのか。

答 条例に沿ってあくまでも、モデルケースとして解体撤去をします。しかし、寄付行為や相続放棄手続が進まない等、現段階では実施にはいたりません。



椿焼き窯跡

三セクの施設改築財源は

産業厚生常任委員会

各課からの報告

農林振興課

◆森の感謝祭80名が参加。これからの里山森林振興について模索。

◆豚の流行性下痢（PED）4月27日発生するが、5月4日以降発症なく、5月16日より出荷再開します。

◆有機堆肥エコプラントめざみ、株主総会において柳田康夫氏新代表取締役へ。H25年度当期利益172万円。

商工観光課

◆DC旅プラン開始される。ゆり園満喫ツアーを毎週土日に実施。ゆり園6月14日開園。

◆飯豊山、本町を主会場に山開き。（7月5日～6日）

地域整備課

◆H26年度建設室の工事発注は、6月末で47%の見込み。水道室は56%の見込み。

◆住宅リフォーム補助金は、27件の申込み有り。895万円で、ほぼ前年並み。

健康福祉課

◆臨時交付金、全戸にチラシを配布し周知予定。申請受付は7月～10月までの3ヶ月間。郵送と窓口の方法により受付。詳細は、お知らせ版に記載。

国民健康保険診療所・美の里

◆冷温水機の修繕に係る補正予算を最終日に提案。

◆通常年2回実施する避難訓練を今年度は、6月20日実施。

質問と答弁

問 今年度、プレミアム商品券を発行するの

か。

答 商品券の経済効果を検査するためアンケートを実施し検討していきます。

問 第三セクターの施設が老朽した場合、修繕、改築の財源をどう

するのか。三セクからの基金積立等考えられるかどうか。

答 県では基金からの貸付が可能だが、町の場合どうかは確認します。

問 診療所ドクターが代わったが、利用状況

等はどうか。1年で交代するのは、町民に不安があるのでは。

問 診療所ドクターが代わったが、利用状況等はどうか。1年で交代するのは、町民に不安があるのでは。



町民に信頼される診療所に

問 新水源地の状況は、

答 患者数は、3月と同程度に推移。自治医大からの派遣に道筋ができたので、今後改善されると思います。

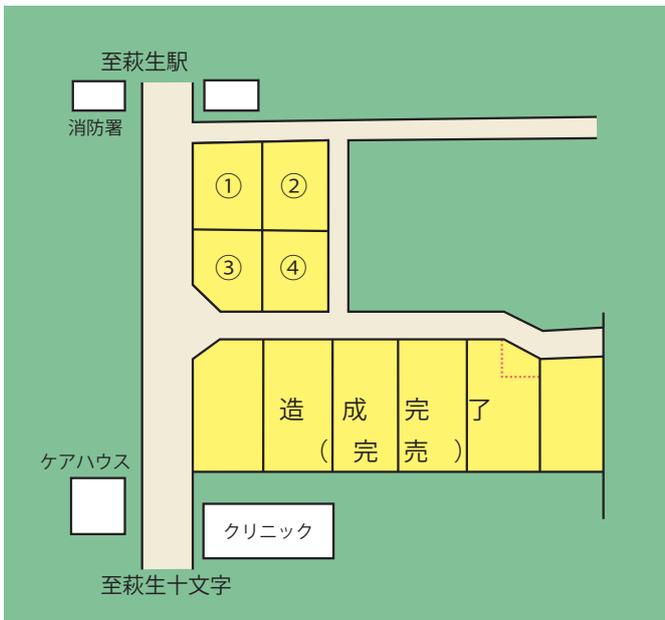
問 置賜自給圏構想における町の地域資源をどのように考えているか。

答 米と畜産は従来から飯豊が役割を担ってきたが、さらに飼料、米糠からの油脂を自給できないか考えています。

土地開発公社 第3セクター 決算

さらなる努力に期待

平成25年度土地開発公社及び第3セクター5社の決算が今定例会に報告されました。土地開発公社では、「中ノ目南住宅団地」西側分譲地6区画の造成工事が完了し、完売しました。また、第3セクター（町が50%以上出資する会社）においては、各会社とも前年度に引き続き単年度黒字決算となりました。しかしながら、町からの支援を受けての経営成績ですので、今後もさらなる努力を期待したいものです。



飯豊町土地開発公社 損益計算書

(単位：千円)

科目	金額
完成土地等売却収入	23,534
完成土地等売却原価	21,846
開発中土地売却収益	0
販売費及び一般管理費	160
特別損失	17,661
事業外収益	52
当期利益	△16,082

有限会社どんでん平ゆり園 損益計算書

(単位：千円)

科目	金額
売上高	43,579
売上原価	13,962
販売費及び一般管理費	30,027
営業外収益	828
営業外費用	0
当期純利益	128



(有)エルベ 損益計算書

(単位：千円)

科目	金額
売上高	46,311
売上原価	13,903
販売費及び一般管理費	29,141
営業外収益	100
営業外費用	155
特別利益	17
特別損失	2,179
当期利益	978



(株)緑のふるさと公社 損益計算書

(単位：千円)

科目	金額
売上高	143,594
売上原価	38,959
販売費及び一般管理費	109,131
営業外収益	1,513
営業外費用	1,663
特別利益	14,074
特別損失	6,159
当期利益	3,082



(株)飯豊町産業開発公社 損益計算書

(単位：千円)

科目	金額
売上高	226,691
売上原価	72,533
販売費及び一般管理費	156,819
営業外収益	5,120
営業外費用	410
特別利益	63
特別損失	300
当期利益	1,626



飯豊めざみの里(株) 損益計算書

(単位：千円)

科目	金額
売上高	598,083
売上原価	364,547
販売費及び一般管理費	227,023
営業外収益	2,022
営業外費用	886
特別利益	54
特別損失	10
当期利益	1,142

全議員研修報告

産業振興に一役を



デンソー高棚工場前で

6月18日から20日にかけて、地場産業振興取組みの一環として、愛知県「アンデン(株)」及び「(株)デンソー」を、全議員と町長、総務企画課長並びに議会事務局長で訪問し、視察研修を行ってきました。

町内企業の親会社である2社について、本町の企業振興策や、規模拡大のための条件整備

備及び状況など情報の提供を行なうとともに、就労の場の更なる整備及び雇用の拡大について要請を行いました。全議員による研修であり、親会社を訪れたことのない議員もいることから、企業の概要や現在の事業内容について説明を受けた後、工場の見学を行なってきました。

車両接近通報装置など、新たな製造ラインの本町への誘致活動も併せて行った結果、会社側からは、積極的に取り組みたいとの考えを伺う事ができました。

岡崎工場及びデンソー高棚工場を見学し、全員が規模の大きさと完全な機械化に驚き、何本ものラインを一人で担当している様子に、本町の工場にもその機械があったらと考えました。人員削減にもつながりかねず、雇用には結びつかないのではないかと不安もいただきました。

懇切丁寧な説明をいただいたアンデン(株)の高尾社長と、3日間何も分らない私達を案内下さいました。マルコンデンソー(株)の夏目社長に感謝するとともに、今回の研修が本町産業振興に役立つことを確信してきました。



アンデン本社で熱心に研修

編集後記

山形デステイネーションキャンペーン期間中。本町も「花ウオークゆり香る町いいで」と散居集落の田園景観トレッキングなど、数々のイベントが開催される。観光客へ「いいで人」のおもてなしを心がけたいものです。

(山口 記)

発行責任者	議長	中村 仁一
委員長	長沼	安義
副委員長	菅野富士雄	
委員	長沼	桂子
	山口	文隆
	中村	仁一
	松山	清一